

アカゲラ通信

2018年2月号 (公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「次のシマエナガ」を探そう

この冬も旭山記念公園にはシマエナガを見に来る方が多く訪れています。

シマエナガはそのかわいらしさで人気爆発しましたが、旭山にはまだかわいらしい鳥がたくさんいます。

今回は「次のシマエナガ」、旭山で「ブレイク」するかもしれない！？ 野鳥7種類を挙げてみました。

(名前の右の記載はその鳥が旭山で見られる時期です)。

★キクイタダキ→ 10~3月

全身薄い緑がかった褐色

針葉樹にいることが多い鳥

日本一小さい鳥

【チャームポイント】

・くりっとした目とその周り

・尾が短く寸詰まりな体

・翼にある目玉のような模様



★ハシブトガラ→ 1年中

林のある公園や低山に多い鳥

日本では北海道だけに生息

下から見ると全体に白いため

一瞬シマエナガと見間違う

ことがある

警戒心が薄く観察しやすい鳥

【チャームポイント】

・黒いベレー帽と蝶ネクタイ



★ヒガラ↓ 1年中

針葉樹にいることが多い鳥

針葉樹があれば市街地の公園にも

やって来る

【チャームポイント】

・黒頭巾に短い「ちょんまげ」



★ウソ→ 10~4月

秋になると山から低地に降りてくる鳥

木の実や芽をよく食べる

【チャームポイント】

・雄はピンクのほっぺ（雌は茶色）

・ふっくりとした体つき

・「フィ」という口笛のような鳴き声



★コゲラ↑ 1年中

最も小さなキツツキ

警戒心が薄く観察しやすい鳥

【チャームポイント】

・「コンコンコン」と木をつつく仕草

・「ギー」という独特の声

・丸っこい体つき



★ルリビタキ← 4~5月上旬、10~11月

高山で繁殖し春と秋に低地に現れる鳥

警戒心が薄く観察しやすい鳥

【チャームポイント】

・雄は背中側が鮮やかな青、雌は茶褐色

・くりくりっとした目



★キビタキ→ 5~10月

旭山では最も接する機会が多い夏鳥

ピッコロのようなきれいな声で囁く

【チャームポイント】

・雄は背中側が鮮やかな青、雌は茶褐色

森の家野鳥人気投票開催中

森の家では野鳥人気投票を行っています。

3月に集計し結果を発表します。

お好きな鳥 2種類にぜひご投票ください！

詳しくは森の家まで！

「旭山野鳥観察会」「自然観察会」の予定

●「旭山野鳥観察会」は直近が2月10日(土)、その次が3月10日(土)開催となっています。

朝8時「森の家」集合 参加費100円(保険代として) 小雨小雪決行です。

みなさまのご参加をお待ちしております！

2018年1月から2月の旭山野鳥情報

★シマエナガ情報

1月中は10羽以上の群れでの行動がよく見られましたが、2月に入り繁殖に向け群れが分散してきており、この先は2、3羽で見られることが多くなります。

2月はまだ見られる機会は多く、イタヤカエデの樹液にも寄って来る時期です。
シマエナガの詳しい情報は森の家までお訊ねください。

◎冬に見られる鳥

★キクイタダキ=1月下旬は噴水広場付近管理棟周りの松でよく見られました。

風の丘下、つり橋周辺、展望台の松で3月下旬まで見られる機会が多いです。

★カケス:つり橋周辺で見る機会が多くて2羽でいます。

★シメ:駐車場周辺で比較的よく見られます。

★キバシリ=旭山都市環境林では見られますが園内では少ないです。

★ウソ=声は園内でもよく聞かれますが近くで見られることはまだ少ないです。

★マヒワ=先月まで7、8羽の群れでしたが今は15羽くらいに増えています。

カラマツやシラカンバに来ますが高い木にいてなかなか近くで観察できません。

★ツグミ=展望台周辺を中心に比較的よく見られますが数は少ないです。

★ヒレンジャク、キレンジャク=1月下旬から旭山では情報がありません。

◎1年中見られる鳥

★ノスリ=2/2久し振りに確認、まだいるようです。

★クマゲラ=1月下旬から園内での観察情報が多くなってきました。

★オオアカゲラ=雄の個体が引き続き園内でも多く観察されています。

★アカゲラ=園内各所でよく見られますがまだ繁殖活動はしていません。

★コゲラ=「ギィーッ」という声がよく聞かれ姿も見られます。

★ハシブトガラ=「ピィピィピィ」と囁りをしています。

★ヤマガラ=「チーリーツー」と3拍子の囁りをします。

★ヒガラ=「ツピツーツピツー」と囁りをしています。

★シジュウカラ=カラ類では唯一まだ囁りを始めていません。

★ゴジュウカラ=「フィーフィー」「フィッフィッ」と囁りをしています。

★ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス=よく見られます。

★フクロウ=毎年2月から3月は日没後に旭山周辺や藻岩山から「フォーフォッフー」という鳴き声が聞こえる日があります。春に向け営巣による場所を探して広い範囲で活動しているため、直近では2月2日17時過ぎに声が聞かれました。



↑上:クマゲラ雄

↓下:オオアカゲラ雄



この春はキタコブシの花があまり咲かない

春真っ先に花が咲く樹木キタコブシ。

冬芽を見れば春にどれだけ花が咲くか冬のうちに分かります。

右の写真は園内のキタコブシの木(左)とその冬芽(右)。

赤で囲んだ毛で覆われた大きな方が花が咲く冬芽=花芽。

青で囲んだ小さい方が花の咲かない葉だけの冬芽。

例年多く花が咲くこの木は今年花芽が少なく、花芽がまったくついていない小さな木も多くあるなど、この春はキタコブシの花が少なそうです。

◎森の家では樹木の冬芽写真をまとめた観察シートをお配りしています。

これを持って歩くと冬の公園散策がより楽しくなります、ぜひ森の家までお越しください。



編集後記

旭山都市環境林の池のほとりの大きなエゾヤマザクラの木が倒れました。

胸高直径50cm以上、100年は経っているであろうという大木でした。

枝には花芽もたくさんついており、枝を折って水にさすと花が咲きます。

その花は、倒れた老木にとってこれが「最後の花」となることでしょう。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第50号 2018(平成30)年2月4日発行

発行: (公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所: 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先: 電話 011-200-0311 (土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>